

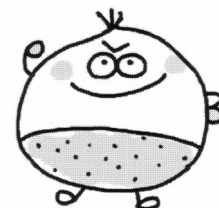
HDM推進会（第 33回）／ごみゼロネット推進会（第 55回）議事録

開催日： 2013 年（H25 年）1 月 9 日（水）10:00 ～ 12:20

場 所： コミュニティサロン・はけ

出席者： 加藤、平林、大橋、杉本、川村、山本（徹）、桐生（作成）

議 題：



1. 山本氏と他のメンバーの初顔合わせと互いの自己紹介

山本氏は市議会のごみ特委員会を傍聴して「HDM 推進会」に関心を持ち、加藤氏の勧めで本日の例会に参加された。山本氏は 38 歳、農工大での学生時代から環境やごみ処理に関心を持ち、地方自治に直接関わりたいとの志望を持つ。例会後、HDM 推進会への正規参加を希望され、全員が了承した。自己紹介内容は省略する。

2. HDM 実証試験の今後の進め方

- (1) 第 19 回 HDM 導入検討会において、市側より「ごみ特に会議議事録と実証試験予算を提出したところ、篠原議員より『経費が高額過ぎるのでないか』と指摘を受け、課内で検討の結果、予算要求を見送ることになった」と表明された。また、市側より「補正予算で提出することもない」と釘を刺されている。
- (2) 来る 3 月下旬に市議会議員選挙が行われるため、全ての採択済み未実行陳情が白紙に戻され、HDM 導入検討会存続の根拠が消失する。この時点で市側との協議を継続させることが出来なくなる。
- (3) 来る 1 月 25 日の市側との HDM 導入検討会が実質的な最終会議になるので、当会側がその場でどのように発言すべきかを決めなければならない。
 - 当会側としては納得しかねる展開となった。杉本氏と川村氏からは、市側の対応の問題点や継続するための提案が出されたが、残念ながらことここに至っては、法の定めに従って HDM 導入検討会をクローズセざるを得ない。
 - 行政側の小野 FK、今井 KF は我々の初期目標と違って小型化したとはいえ、HDM 実証試験実現に向けて誠心誠意、積極的に推進してくれたと思う。当方側からは市側から提案しておきながら、それを我々に否定するような対応をする市側に対して事実を示して責めることは出来るが、彼らの立場が悪くなるような後味の悪い終わり方にならないようにしたいという他のメンバーたちの取り成しがあり 1/25 に予定されている HDM 導入検討会での発言とその内容は加藤氏に一任するとの結論になった。
 - ごみ対策課は「生ごみの地域分散処理」を推しているが、実務面は全て地域主導で進められてきた。このため、
 - ① 設備はリース 3 件／購入 3 件、② 電気代市持ちと自治団体持ち、③ 運営が市民のボランティア方式と人材センター委託、④ 故障時の対応もまちまち、等の無秩序状態で、市民側から非難轟々である。このため、運営要綱を市側で作成することになっているが、提出期限についての約束がない 1/25 の会議でこの件をプッシュして欲しい。
 - 地域分散処理が地域住民のイニシアティブで行われているということは、小型 HDM 処理装置を地域住民が採用すると決めれば、ごみ対策課との対応だけで議会を通さずに、事実上の HDM 実証試験を行うことが出来ることでもある。今後、検討したい。
 - 小野 FK、今井 KF が前のめりになって実証試験の項目を充実させたそのために予算が過大になった理由は、これまでのごみ処理実務に関しては事実上の新人である彼らが意欲を以って自分たちが納得できる内容にしたため、結果はどうであれ、彼らの意欲を買って、今後情勢が変化して市側と協働する時点を期待して、円満に終結したいとの意見が大勢を占めた。
 - 市側からは、「ごみ減量から入るか」「発生した生ごみを HDM 処理するところから入るか」で受け取り方の違いが有り、前者から入ってくれるなら進め方があるとの感触があった。

この点から、市議会議員選挙後は橋詰氏が事務局を務める「生ごみ処理市民協議会」から「生ごみの分別収

集の推進」の形で陳情を出して採択されれば、HDM推進会の精神は引継がれることになるのではないかと、との意見に全員同意した。

1 / 2

3. 「小金井市型複合環境施設設計画案」の提案（平林）

1/8 付けで平林氏より 8 頁の標記提案書が当会 ML で各位に配信されている。内容は多項目に及ぶ高邁なものであり、平林氏より説明された。重要と思われる点は、次の通り。

- (1) 小金井市のごみ処理施設は二枚橋跡地に建設すべきである。
 - (2) 太陽光発電ファームの下部（日陰）に HDM 施設を併置するプランであり、新時代の自治体プラントとして東京都からも支持・支援される可能性が大きい。
- 説明を受けたメンバーから「時流に適ったスマートな提案である」との評価があり、強い支持表明がなされた。

4. 3月の市会議員選挙に向けての当会のアクションプラン

(1) HDM実証試験に賛同してくれた議員たちに対するお礼と経過報告会の開催

① 2 月中に報告会を行う、② 報告者は加藤氏にお願いする、③ 開催の日時・場所等は加藤氏に一任し、全議員に案内状を発送する。

(2) 議員立候補者に生ごみ処理に関する公開質問状を発送し、その内容を市民に公開する

① 焼却か分別収集・微生物処理か、② 他の自治体に依存か、二枚橋で自力処理か、③ 公示方法、等。

以上

次回打合せ： 1月30日（水）10：00～12：00 コミュニティサロン・はけ

上記アクションプランの具体的立案・意見集約を行う。加藤氏より出ている「生ごみ減容HDM実証試験をめぐる動き 経過メモ」が叩き台になる。これの本文としてレジメを用意する。

次回HDM推進検討会は1月25日（金） 場所・時間等は別途杉本氏より通知済み

明1月13日13時からの「マキ氏」（当会参加候補者）との面談は、大橋氏と平林氏が対応する

追記：「ごみゼロネット推進会（第52～54回）議事録」は、桐生が余儀ない事情で参加できなかったために欠番となる。

